

(公財) とやま国際センター

News Release

問合せ先

(公財) とやま国際センター
担当：富山県大連事務所 川村 (富山で勤務中)
電話：(代表) 076-444-2500

発信日：令和2年 6月 25日

富山ファン倶楽部会員等からのマスク 1,000 枚の寄贈及び配布について

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中国の「富山ファン倶楽部会員」等からマスク 1,000 枚が、このたび実施 100 回目を迎える「オタヤこども食堂」に寄贈され、次のとおり、食堂の利用者の方に配布される予定ですので、お知らせします。

1. 配布概要 (予定) ※当日の取材可能

- (1) 日 時：令和2年6月27日(土) 11:30~14:00
- (2) 場 所：御旅屋セリオ6F (高岡市御旅屋町101番地)
- (3) 配布対象：「オタヤこども食堂」の利用者の方
- (4) 配布方法：1家族毎に、中国からのメッセージを添えて「マスク10枚」を配布

2. マスク寄贈者について

- (1) 提供者：①中国遼寧省大連市在住 劉雲 (リュウ・ウン) さん※富山ファン倶楽部会員
②中国遼寧省瀋陽市在住 趙剛 (チョウ・ゴウ) さん※富山ファン倶楽部会員
③中国遼寧省大連市在住 鄒強 (ズ・キョウ) さん※富山の愛好者
- (2) 提供枚数：マスク1,000枚(6月18日に郵送(船便)で「とやま国際センター」到着。)「日本富山県頑張れ!」、「富山の皆様、本当にありがとうございました。」などのメッセージ有。
- (3) 寄贈経緯：日本国内でのマスク不足の報道を聞き、富山県から受けたマスク支援への感謝・富山県への友情の気持ちから「富山県大連事務所」に対し、マスク1000枚の寄贈の打診があったことから「オタヤこども食堂(代表：田辺恵子氏)」にマスクの活用をお願いしたものの。

3. 写真提供について

送付資料2枚目の寄贈物品、添付メッセージの写真データについても提供可能です。ご希望の方は、担当までご連絡ください。

【参考情報1】富山県ファン倶楽部について

研修や留学などで富山県に滞在経験等のある中国人の人的ネットワーク。会員相互の親睦を図るとともに、富山県と中国との各分野における交流活動への協力、相互発展を図ることを目的として2004年に設立。

●代表世話人：趙建国(ちょうけんこく)氏、●会員数：396名(令和2年3月現在)

【参考情報2】 富山県と遼寧省との友好提携について

両県省においては、1984年（昭和59年）5月の友好県省締結以来、各種友好訪問団の相互派遣や、職員・留学生の相互派遣、工業、農業、水産業、医学、港湾等の技術研修員の受入れ、奨学金の支給、環境、スポーツ、文化、学校、観光などの幅広い分野にわたる活発な交流が行われています。

また、友好県省締結を機に、県省双方の市、医療機関、教育機関、民間団体・企業等の中で友好関係が結ばれるなど、全県省が一体となった交流が積極的に行われています。

（写真提供可能な画像データの例）

（1） 寄贈物品（マスク）



（2） 頂いたメッセージ（左：①劉雲さんより、右：②趙剛さんより）



令和元年度の海外技術
研修員として、富山で
なかなか忘れられない
半年間を過ごしまし
た！富山の皆様、ほん
とにありがとうございました
ました～

【6月27日（土）当日の「オタヤこども食堂」の様子】



中国から届いた友情のマスクを受け取った子供とその家族



子どもたちに配布された中国からの友情マスクとその説明紙、お菓子やミカンも一緒に！